

# 「夢と創造力 神様の前に」

イザヤ 65:1～2 16～18

創世記 37:3～ ヨセフは当時17歳で、自分に兄や父親がひれ伏すようになるという夢をみたが、見た夢をそのまま言ってしまった為、兄弟に憎まれ、捨てられ、人生は崩れ苦しみの中に落ちて行った。しかし、兄弟に捨てられたのに、夢のとおり、家族を救う人になった。ヨセフの人生はイエス様の人生のひな型。苦しい中であっても実を残す決断をする人生を生きたヨセフから、夢と創造力とは何か考えてみたい。あなたは夢を持っていますか？夢を形にするのが創造力。創造力は、知識と意識と感情によって、過去に反省によって作られたあなたの自己であろうとする欲求です。アブラハムは神様から、あなたの子孫はあの空の星、海の砂の様になると言われた。彼は、どんなになるのだろうかと思った。神様は夢を形にするために、行動するように命じられた。幸せにするとと言われて、感じる事が大切。

## 悔い改めの大切さ

神様の前に出る時に、夢と創造力に関わっているととても大切なことがある。何が必要なのか。それは、悔い改めという事(=反省)。私達は反省と聞くと、自分の起こした過去について顧みて考えてジャッジするが、それが反省だろうか？群衆に捕られた遊女に対してイエス様は何と言われたか。彼女が遊女として生きる様になったのにはやむを得ない理由があるはず。イエス様はその過去をジャッジしたのではない。悔い改めて、これからは同じ生き方をしてはいけないと言われた。今は、反省しない社会になってきている。インターネットにすぐ答えが出てくるので、人生の中で考えない様になり、日々の生活をこなすようになっていく。あなたは、どうですか？反省は好きですか？神様のさせたい悔い改めはジャッジではなく、その過去の痛みを通して創造させる事。ただ、ごめんなさいと謝らせたいのではなく、知・情・意を改めさせたい。悔い改めという手法を使って、元にもどしたいだけ。神様は謝れと言っているのではなく、戻れと言っている。聖書はあなたに、謝れと言って、ギャフンと言わせたいわけではない。謝る事の意味がわからないと、悔い改めは全否定と感じてしまう。本来は相手との関係を回復するために謝るのではないですか

## 創造力と反省 自己と反省

創造力は自己の再現であって、自己の可能性。私達は、今まで生きてきた土台から、夢を持っていく。きちんと悔い改めが出来ていないと、こういう風にしようでなく、こうならないようにしよう、問題を起こさない様にしよう、叱られない様にしようという、自己防衛の生き方になってしまう。今置かれている場所でどうしたいのか、私達は信仰をもって祈っている。夢はあるが、どうしていいかわからない。神様の思いから離れてしまっていると、神様が助けてくれている事に気づけない。自己であろうとする事を辞めて自己ではない超自然の神を求めてしまう。遭難して、主よ助けて下さいと祈り、ボートやヘリコプターが助けにきたのに、超自然的な神の奇跡で助かりたいと言って、現実の救助を受け入れずに死んでしまうような悲しい事になってしまう。自己の再現が神様の目的であり、本当の自分に戻る回復は、悔い改めから起こるので、悔い改めは痛みではなく、本来は楽しい事であり喜び。反省はどう戻るか、今度はどうやろうかであり、正しいか間違い(ジャッジ)ではない。神様が考えさせてくれている時にいかに自らを省みる事が出来るかが大切

## 過去に捕らわれない

聖書は過去ではない。過去に捕らわれない。過去に捕らわれてクリスチャン生活を送ると、自分のみじめさや愛のなさに気づくがゆえに、つらくなり、「苦しむちゃん」になってしまう。そして最後は自分を排除しようとしてしまう。夢を持っているだけでなく、アブラハムやヨセフのように苦難の中でふてずに捨てずに、過去の自分を指摘せ

ずに今度はどう生きるかと考える。何度失敗しても、うまくいかない状況が繰り返されても、今度はどう生きようかと考える。それがヨセフの生き方。過去を振り返り、どうせ自分は…とうじうじ思っても仕方ない。自分が自分である為に願ってあげたい。創造力と反省だけ。過去の反省に基づいて、あなたの夢を完成させる為に、次はこうしようと考えて。これだけ。ヨセフは反省する為に穴に落とされ、売られる必要があった。過去にどんな失敗があっても、正しい意味で反省が出来たら戻してくれる。悔い改めが出来ると変わる。

## 立場を捨てる

その為に神様の前に出て信じて向き合う必要がある。でも、その時、プライドや自分の立ち位置、立場が出てくると駄目。イエス様も神としての姿を捨て、ご自身を無にされた。立場を捨て、神様の前に出て次の夢に向かう事が出来ると早い。志はどんどん大きくなって、願ってもない事が起き、人間関係も経済も、そんな事は願わなくても満たされる。過去の支配にもついでこうとする囁きに捕らわれず、自己であろうとする事が大切。ヨセフの家族はヨセフが変わらないと滅んでいった。今、教会にいる一人一人は絶対に守られる。神様はあなたを任命して実を結ばせると言われた。悪魔は違うと言ってくる。もし、過去に縛られていると悪魔の声を聴いてしまう。聞きやすい方に行ってしまう。過去を捨てて、神様の声を選んで欲しい。イザヤ 66:1～2。

16～18 私に問わなかった者たちに私は尋ねられ、私を捜さなかった者達に見つけられた。私は、私の名を呼び求めなかった国民に向かって私はここに、私はここに言った。私は反逆の民、自分の思いに従って良くない道を歩む者達に一日中、私の手を差し伸べた。この世にあって祝福される者は、まことの神によって祝福され、この世にあって誓う者は、まことの神によって誓う。先の苦難は忘れられ、私の目から隠されるからだ。見よ、まことに私は新しい天と新しい地を創造する。先の事は思い出さず、心に上ることもない。だから、私の創造するものを、いついつまでも楽しみ喜べ。見よ、私はエルサレムを創造して喜びとし、その民を楽しみとする。

## 人生が新しくなる

私は新しい事をすると言われている。どんな事だろうかと想像して下さい。神様があなたの人生にしようとしている事を想像して下さい。神様を小さくしないで下さい。あなたの手から良いものが流れる事を想像して下さい。神様はあなたをどうされようと、どう用いようとされていますか。イエス様の愛を流す者にされようとしている。その前に捕らわれている過去を降ろし、自己否定を降ろさないといけない。神様があなたを愛して素晴らしく創ったのに、その愛を否定してしまうのは、大きな罪です。十字架を無にしてしまう事です。過去の痛みを降ろし、神様に向かって下さい。痛かった、辛かった、あの時の言葉は辛かったと十字架に痛みを降ろして下さい。そうしたら、全てが新しくなります。(IIコリント 5:17) 誰でもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、全てが新しくなりました。

(要約者:日名 陽子)

(3月12日)